

協働



令和5年9月15日発行

奥多摩町立奥多摩中学校

応援の力

校長 原 善哉

夢と希望を語る夏休みはいかがでしたか。お子様とのすてきな時間となりましたでしょうか。私は3年ぶりに本格的に再開した夢と希望の海外派遣事業に校長として同行させていただきました。バイロンベイ高校との交流のなか、派遣生徒達の頑張り、バイロンベイ高校の先生、生徒達の優しさや心遣いを実感することができました。

持ち帰った様々なものは、奥多摩中の教育にも生かしてまいります。来年にはバイロンベイ高校の受け入れがございます。ホームステイや奥多摩の体験プログラム等、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さてバスケットボールやラグビーのW杯が盛り上がりを見せています。スポーツはいつも私たちに、元気を与えてくれます。そして選手達も「皆様の『応援』が力になりました！」と謙虚にそして感謝の気持ちをもって答えてくれます。「応援」とは本当に強い力を持っているんですね。

最強のプロゴルファー、タイガーウッズ選手。彼の強さの秘密をご存じでしょうか。それはきっとたくさんあると思いますが、特に「応援」にちなんだお話をします。ある大会で、ウッズが1位で全ホールを打ち終わり、2位の選手が最終ホールで同点をねらっています。このパットを外せば、ウッズの優勝が確定、決まれば同点でプレーオフ（延長戦）という緊迫した場面です。このとき、もし皆さんがウッズだったとしたら、どんな気持ちで見守るでしょうか。

なんとウッズは「頑張れ！決めてくれ！」と心から相手を応援する（できる）というのです。何千万円という賞金のかかった試合です。誰もがそのまま勝ちたいと思うはず。本当なのでしょう。

結果は、2位の選手が見事カップインし絶好調の中で延長戦スタートです。迎え撃つウッズは追いつかれて厳しい試合になると思いきや、安定したパフォーマンスを発揮し、難なく延長戦を制して見事優勝するのです。

なぜウッズは焦ることなく延長戦に臨めたのでしょうか。同点となった二人の選手は、知力・体力・時の運、すべてが互角です。しかし最後のホールでカップインし追いついた対戦相手は、うれしさに気持ちは絶好調です。すべて互角の選手同士の延長戦ならば、絶好調の方が勝つ可能性は大です。実はウッズは、こうなることを知っています。もしウッズが「外せ」と願って追いつかれたなら「あーあ」とがっかりして、最悪の気分（絶不調）で延長戦です。敵（ライバル）であっても心から応援しているのでボールがカップに入った瞬間、入れた本人よりも喜びます。「こんなに強く、すばらしい選手と更に戦えるなんて、本当にうれしい！最高だ」と相手を上回る絶好調で延長戦に臨み、最終的には勝ってしまうのです。

これぞ一流のアスリート。さすがとしか言葉がありません。

しかし最強ウッズも、はじめからそうできたわけではありません。心から応援できるようになるまで、ゴルフの練習と同じように、何度も何度も応援する練習したそうです。その結果、自然に心から相手を応援できるようなメンタルに成長していったのでした。

～「スラムダンク勝利学」辻秀一氏の講演より～

この話から学びたいことが4つあります。

- 1 応援は誰かの力になるのと同時に、自分の力として返ってくるということ。
- 2 対戦相手を応援するという難しいことも練習によって、自然にできるようになるということ。
- 3 運動や楽器、勉強などの技能だけでなく「考え方」も練習をすれば身につく（習慣付く）ということ。
- 4 応援はスポーツのためだけのものではなく、日常生活の中すべてに当てはまるということ。

お互いの力を押し込め合う事ではなく、応援によってお互いの力を発揮させ合う事がスポーツの理想ならば、私たちもお互いにお互いを応援しながら生きていきたい。フレイフレイ中学生、フレイフレイ奥多摩町。

7・8・9月の奥多摩中学校

7月28日（金）～8月9日（水） 奥多摩町海外派遣事業

8名の生徒が海外派遣事業に参加しました。

青い空ときれいな海、気持ちの良い気候の中、親切なホストファミリーや高校の先生方にお世話になり、学びの多い充実した日々を過ごすことができました。バイロンベイでの経験は、生徒の心に一生残る思い出となったはずです。

また、9月10日（日）に行われた帰国報告会では、13日間の経験と学びを基に、教育委員会や保護者、地域の方々に本事業の成果を報告することができました。



壮行会（文化会館にて）



ホストファミリーのみなさんと



小学校への訪問



技術の授業の様子



奥多摩音頭も踊りました



ビーチでクリケット



町のシンボルの灯台の下で



またいつの日か



帰国報告会（文化会館にて）

8月29日（火） 始業式

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。コロナ禍が明けたこともあり、暑さ対策も兼ねて久しぶりに全校生徒がグリーンルームに集いました。奥多摩中学校らしいアットホームな空間となりました。



校歌練習の前のストレッチ



校長先生の話真剣に聞いています

部活動の様子

スポーツ部

新体制のチームがスタートしました。2学期最初の競技はバレーボールに決定しました。全員で声を出し、切磋琢磨しています。一人一人が自分の目標に向かって頑張っています。



カルチャー部

カルチャー部では、奥多摩観光協会の依頼を受けて、地域をPRする缶バッチの制作に取り組んでいます。動物をモチーフにした缶バッチを制作しているグループは、9月8日（金）にビジターセンターを訪問し、奥多摩地域に住んでいる野生動物についてお話を聞かせていただいたり、剥製を撮影したりしました。今回調査したことを缶バッチのデザインに生かしていきたいと考えています。



アウトドア部

ミーティングで夏休み中の各自のアウトドアでの活動について、顧問や部員から他の部員への紹介をしました。現在、2学期にどのような活動に取り組むかについて話し合いをしています。

ボランティア部

部の中心が3年生から2年生に代わり、新たに部員2名でスタートします。新体制の最初の活動は一年間の計画作成でした。クリーン作戦、フードドライブ、ドローンの操作技術の向上、災害時への備え、高齢者とのグラウンドゴルフ…今までの活動を継続しながら、深めていきたいと考えています。

A L T の先生がかわりました

前任の先生先生の任期満了に伴い、先生が着任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

先生が



7月20日（木）服務事故防止研修（教員研修）を実施

昨今、社会的な問題となっている性暴力の防止を目的とした研修を、全教職員で受けました。性暴力に限らず、服務事故は教員自身やその家族、学校に大きな不利益をもたらすと同時に、なにより生徒へ少なからぬ影響を与えます。私たち教職員は、公務員としてだけでなく、その前に一人の社会人・大人として襟を正して職務に当たります。

また、体罰や暴言の撲滅の意識を全教員で共有するためにポスターの標語を作成しました。今年度の標語は「H₂O 包容力と広い心でおだやかに」に決まりました。

